

市の平成28年度決算がまとまりました。市にはどんな収入があり、何にいくらお金を使ったのか、その概要をお知らせします。

【決算の規模】

一般会計は、歳入・歳出額ともに前年度を上回り、過去最大規模の決算となりました。クリーンセンターの施設改修や小浜美郷小学校の建設、国体のための施設改修などで前年度から増加となりました。

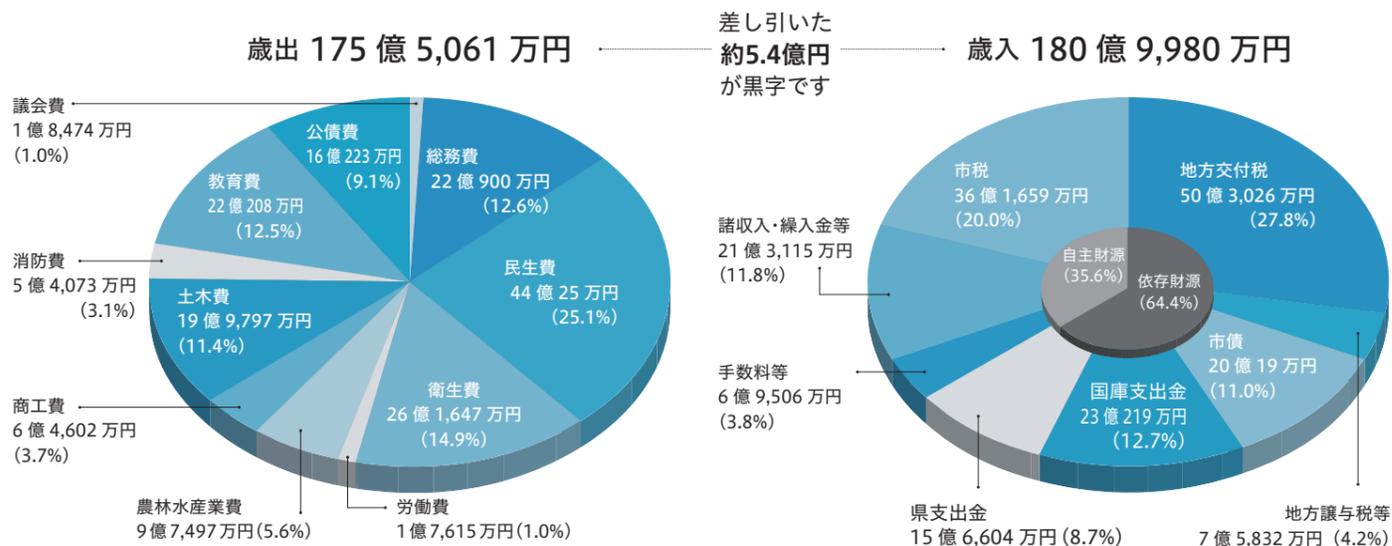
【一般会計の歳入】

歳入では、市税や地方交付税、地方消費税交付金の減少などがありました。国庫支出金がクリーンセンターの施設改修や小浜美郷小学校の建設の補助金などの増加により18・4%の増加。その他ふるさと寄附金の増加や基金からの繰入金増加などにより、総額では7億2,827万円増加しました。

【歳出】

歳出では、総務費が土地開発公社清算事業の終了などにより24・9%減少。商工費がプレミアム商品券発行事業の終了などにより16・9%減少しました。一方で、クリーンセンター施設改修事業などで衛生費が38・3%増加。まちの駅の整備や除雪経費の増加などで土木費が14・2%の増加。小浜美郷小学校建設や国体施設改修などで教育費が36・3%増加し、総額では7億3,969万円増加しました。

【一般会計 歳入歳出決算構成グラフ】



【平成28年度の主な取り組み】

クリーンセンター
施設改修事業
9 億 3,895 万円

施設の延命化および省エネ化、CO2削減などを行う設備の改良工事を実施。



「鯖、復活」プレミアム
養殖拡大プロジェクト
3,202 万円

「鯖街道の起点・小浜」を象徴する魚であるサバについて、養殖を開始。



福井しあわせ元気国体
準備事業
1 億 5,714 万円

大会の開催に向けた準備や、総合運動場多目的グラウンドの芝生化ほか。



まちの駅
関連事業
1,953 万円

まちの駅オープニングイベントの開催や旭座での各種イベントを実施。



小浜美郷小学校
建設事業
7 億 6,141 万円

小浜美郷小学校の建設に向けた敷地造成工事の完成や校舎などの建設工事に着手。



子ども医療費
助成事業
7,792 万円

0歳から15歳（中学3年生まで）の子どもを対象に医療費を助成。



- コンビニ収納導入事業 834万円
市税などのコンビニ収納を導入するために、システム改修などを実施。
- 情報セキュリティ強化対策事業 4015万円
マイナンバーの情報連携による情報流出リスクを低減させるためセキュリティを強化。
- 公立小浜病院組合負担金 6億5551万円
公立小浜病院の円滑な運営のため負担金を支出。
- 年金生活者等支援臨時福祉給付金 1億825万円
65歳以上の低所得者および65歳未満の障害・遺族年金受給者に対しての給付措置。
- 不妊治療費助成事業 375万円
不妊治療に要した個人負担を助成。
- 予防接種事業 6072万円
感染の恐れがある疾病の発生などを予防するための予防接種を実施。
- 自然光利用型の連棟ハウス整備事業 1億553万円
ミディトマト栽培のための大規模園芸ハウス整備を支援。
- 多面的機能支払交付金事業 8084万円
農用地、水路、農道などの地域資源の保全活動を行う地域の組織を支援。

- 企業振興助成金 1億円
企業立地の促進のため企業振興助成金を交付（日本電産テクノモータ株式会社）。
- 空き家リノベーション観光活用事業 1065万円
空き店舗をリノベーションして、町家宿泊施設として整備・オープン。
- 小浜魅力発信・投資呼び込みプロジェクト 313万円
投資型クラウドファンディングを活用して、小浜の資源の活用や魅力発信に資する事業展開に取り組み事業者を支援。
- 都市再生整備計画事業（小浜地区中・西部地域） 3億4517万円
小浜地区中・西部地域の整備に向けて、市道柳町線（三丁町）の工事に着手するとともに、まちの駅を整備。
- 社会資本整備（小浜縦貫線） 1億9891万円
小浜縦貫線の整備に向けて、用地取得や物件補償などを実施。
- 下水道事業繰出金 8億4620万円
公共下水、農業集落排水、漁業集落環境整備事業の運営のための繰り出し。
- 市営体育施設管理事業 3億4581万円
市民体育館耐震補強工事などを実施。

企業会計 水道事業

民間企業と同じように事業で得る収益で運営する独立採算型の会計

【損益計算書】

営業費用 3 億 3,597 万円	営業収益 4 億 218 万円
営業外費用 4,095 万円	営業外収益 7,522 万円
当年度純利益 1 億 48 万円	
計 4 億 7,740 万円	計 4 億 7,740 万円

【貸借対照表】

固定資産 65 億 9,314 万円	固定負債 16 億 1,373 万円
流動資産 5 億 9,975 万円	流動負債 1 億 9,452 万円
	繰延収益 29 億 902 万円
	資本 24 億 7561 万円
計 71 億 9,289 万円	計 71 億 9,289 万円

第 3 セクター

国・地方公共団体と、民間事業者との共同出資により設立された法人

おばま観光局

「株式会社まちづくり小浜（おばま観光局）」の、平成 28 年度（第 7 期）の決算と取り組み概要をお知らせします。

【経営状況】

28 年度は、来場者数の上昇傾向が年間を通して続き、9 月の天候不順や 2 月の雪の影響を除くと、前年同月を上回りました。道の駅の売り上げも前年度に比べて増加して、約 542 万円のプラスとなりました。また、27 年度から運営受託している濱の四季では、売り上げが前年度をやや下回ったものの、約 209 万円の黒字を計上しました。

市営駐車場の指定管理事業では、大雪による除雪の影響から、営業利益は約 21 万円の赤字となりました。全体では、約 295 万円の当期純利益を上げることができました。

【損益計算書】

営業費用 1 億 1,347 万円	営業収益 1 億 1,903 万円
営業外費用 181 万円	営業外収益 39 万円
法人税等 119 万円	
当期純利益 295 万円	
計 1 億 1,942 万円	計 1 億 1,942 万円

【貸借対照表】

流動資産 1 億 871 万円	流動負債 4,066 万円
固定資産 549 万円	固定負債 3,789 万円
	資本金 2,500 万円
	利益剰余金 1,065 万円
計 1 億 1,420 万円	計 1 億 1,420 万円

【主な取り組み】

- ・海の駅エリア各施設と連携を強化して、海の駅活性化イベント、キャンペーンを実施しました。
- ・まちの駅がオープンして、西組エリア全体のまちづくり計画を策定するなど、まちの駅をゲートとしたまちなか活性化を進めました。
- ・3 駅を核とした、滞在型・目的地型の観光魅力づけを強化。市委託事業で「観光おもてなしプラン充実事業」など 4 本の公益事業に取り組みました。三丁町にある旧料亭を観光庁の事業と連携して、ゲストハウス用にリノベーションしてオープン。10 年間契約で運営を開始しました。
- ・まちづくり市民幹事会やミチフリマーケット実行委員会、KISUMO 小浜など、市の活性化を担う市民有志と協働して、さまざまなにぎわい創出事業に取り組みました。



■問い合わせ おばま観光局 ☎ 56・3366

（株）ケーブルテレビ若狭小浜

【損益計算書】

営業費用 2 億 9,298 万円	営業収益 3 億 7,468 万円
営業外費用 218 万円	営業外収益 469 万円
特別損失 474 万円	
法人税等 2,614 万円	
当期純利益 5,333 万円	
計 3 億 7,937 万円	計 3 億 7,937 万円

【貸借対照表】

流動資産 5 億 4,827 万円	流動負債 2,404 万円
固定資産 2 億 6,402 万円	固定負債 2 億 6,099 万円
その他資産 150 万円	資本金 4,000 万円
繰延資産 85 万円	利益剰余金 1 億 3,961 万円
	積立金 3 億 5,000 万円
計 8 億 1,464 万円	計 8 億 1,464 万円

（株）小浜市総合卸売市場

【損益計算書】

営業費用 1,297 万円	営業収益 1,394 万円
営業外費用 19 万円	営業外収益 68 万円
法人税等 47 万円	
当期純利益 99 万円	
計 1,462 万円	計 1,462 万円

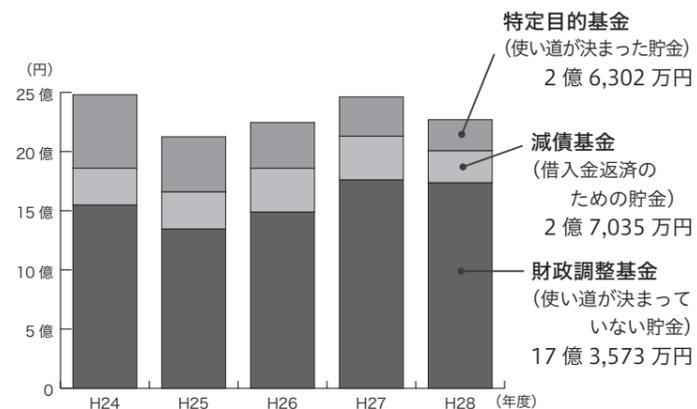
【貸借対照表】

流動資産 2,700 万円	流動負債 456 万円
固定資産 1 億 4,212 万円	固定負債 1,390 万円
	資本金 8,000 万円
	利益剰余金 7,066 万円
計 1 億 6,912 万円	計 1 億 6,912 万円

基金（貯金）残高の状況

平成 28 年度末残高 22 億 6,910 万円
市民一人当たり 約 7 万 6,000 円

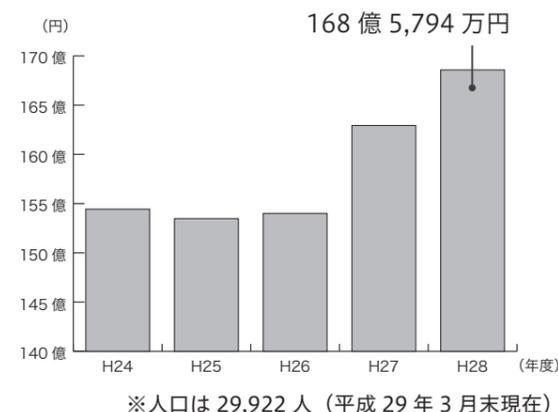
28 年度は基金に 3 億 3,941 万円積み立てましたが、小浜美郷小学校の建設や国体施設の改修などの事業実施のため、5 億 3,205 万円取り崩しました。



市債（借入金）残高の状況

平成 28 年度末残高 168 億 5,794 万円
市民一人当たり 約 56 万 3,000 円

クリーンセンター施設や国体施設の改修、小浜美郷小学校建設などのための市債を借り入れたことにより、前年度から 5 億 6,504 万円増加。今後も小浜縦貫道線拡幅事業など大規模事業に市債を充てるため増加する見込みです。



市の財政状況は健全

健全化判断比率はどの指標とも早期健全化基準以下で、健全な財政状況です

【健全化判断比率】

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小浜市の比率	赤字なし	赤字なし	10.5%	118.7%
早期健全化基準	13.53%	18.53%	25.0%	350.0%

【資金不足比率】

	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20%
簡易水道事業特別会計		
下水道事業特別会計		
農業集落排水事業特別会計		
漁業集落環境整備事業特別会計		

健全化判断比率については、いずれの指標とも早期健全化基準以下であり、健全（安全）な財政状況です。資金不足比率については、公営企業会計の経営状況を示すものですが、いずれの会計も資金不足は生じていません。

特別会計

特定の事業や特定の収入で行う事業で、一般会計とは区別して経理を行う会計

会計名	歳入額 (A)	うち一般会計繰入金	歳出額 (B)	差し引き (A-B)
国民健康保険事業	35 億 6,815 万円	2 億 2,207 万円	35 億 6,483 万円	332 万円
後期高齢者医療	3 億 3,824 万円	1 億 262 万円	3 億 3,772 万円	52 万円
介護保険事業	31 億 8,610 万円	4 億 6,348 万円	31 億 5,403 万円	3,207 万円
簡易水道事業	7,909 万円	1,570 万円	7,611 万円	298 万円
下水道事業	17 億 4,501 万円	6 億 689 万円	16 億 8,423 万円	6,078 万円
農業集落排水事業	4 億 5,983 万円	2 億 1,910 万円	4 億 5,007 万円	976 万円
漁業集落環境整備事業	5,257 万円	2,021 万円	5,222 万円	36 万円
加斗財産区運営事業	5 万円	0 万円	2 万円	3 万円